

平成 29 年度 活動報告会 in 東京 開催

平成 30 年 2 月 23 日、本プログラムの助成校 22 校の先生を招聘し、都内で活動報告会を実施しました。

報告会では、助成金を活用して実施した 1 年間の減災教育の実践を持ち寄り、地域を超えて多様な活動を共有し、学びを深めました。



文部科学省の中鉢防災教育係長による特別講話も行われました。



ワークショップでは、東日本大震災の教訓を全国の学校防災につなげるために必要なことについての話し合いを行いました。



ファシリテーター：(特活) SEEDS Asia 上田和孝先生

最後に、プログラム・コーディネーターの及川幸彦先生（※）より、今年度行ってきた各学校での減災教育をいかに未来につなげていくかについて総括がありました。

特に、学校教育（公教育）で減災教育を“持続可能なもの”にするためのポイントとして、1）減災教育を教育課程・カリキュラムに落とし込むことの必要性、2）減災教育を継続するための地域とのシステム・体制づくり、3）教員の異動を前提に、次の世代の教員も育成していくことの重要性などが伝えられました。



※東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター主幹研究員

そして、“人づくり”こそが、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するエンジンであるというメッセージが発信されました。



本プログラムに参加された先生方が、今後も本プログラムでの学びとここで出会った先生とのつながりを活かして、各学校の減災教育を強化し、地域の防災リーダーとなって、子どもたちの命を守る減災教育の輪を日本各地に広げていただけることを願っています。

